

平成18年4月分電力需給状況

需要の概要

平成18年4月の販売電力量は、22億3千万kWh時、前年比101.7%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、4月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる暖房需要の増などから、前年比101.3%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の気温要因などから、前年比104.8%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが前年を上回ったことから、前年比102.9%となった。

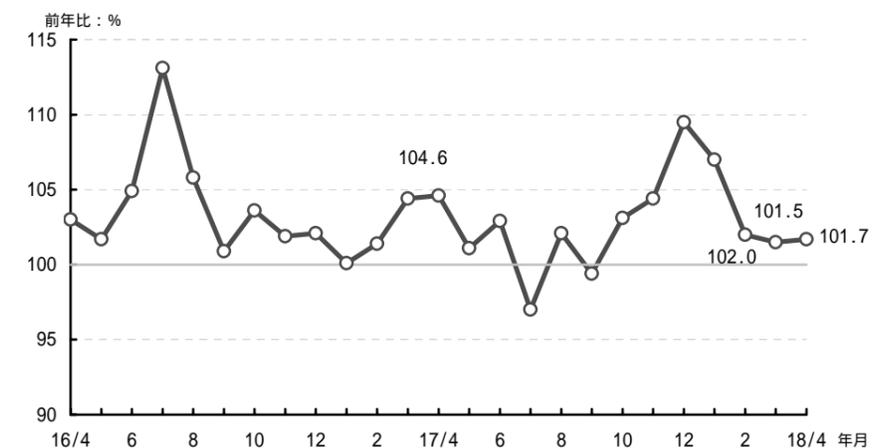
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	794	101.3
	電 力	170	95.7
	計	964	100.3
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	427	104.8
	産業用電力	839	101.7
	うち大口電力	(650)	(102.9)
	計	1,266	102.8
販売電力量 計		2,230	101.7
融 通		396	102.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/4月	18/3月	18/2月
紙・パルプ	125	106.4	114.6	111.7
化 学	139	105.6	109.7	107.7
鉄 鋼	73	85.3	87.6	97.5
機 械	133	105.8	108.0	106.7
そ の 他	180	105.2	105.8	104.4
合 計	650	102.9	106.0	105.8

(参考2) 4県都平均気温

	18/3月				18/4月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	8.4	8.3	9.9	8.9	13.0	14.2	14.3	13.9
平年差	0.5	0.9	0.7	0.4	0.3	0.4	2.0	0.7
前年差	0.3	0.2	0.7	0.2	1.6	1.0	3.5	2.0

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により前年比73.9%となった。
- 水力は、豊水および前年の湯水の反動により、前年比186.3%となった。
- 火力は、原子力発電電力量の減少などにより、前年比127.8%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(39) 1,080	73.9	出水率 126.3% (17年4月出水率 69.1%)
水 力	(15) 410	186.3	
火 力	(46) 1,280	127.8	
発受電計	(100) 2,770	103.2	
その他	1		
供 給 計	2,769	103.2	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.3) 509	(99.5) 363	(102.5) 783	(104.2) 575

注：()内は前年比